

事業名	八ヶ岳自然ふれあいセンター		
細事業名		財務コード	
担当部課室	森林環境 部	みどり自然課 課	自然保護 担当 (内線) 6508

I 事業の概要

実施期間	始期 H26 年度 ~ 終期 H30 年度		
実施主体	指定管理者:公益財団法人キープ協会		
事業の目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	県民等	恵み豊かな自然の中で、自然環境に関する情報と学習の機会が提供されている。	本県の良好な環境の保全と継承に寄与する。
事業の内容 主にH29年度	1 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 2 八ヶ岳南麓の自然に関する情報の提供に関する業務 3 自然環境に関する知識のための体験学習の機会提供に関する業務 ○展示事業(入館者79,514人) 視覚ホール、図書室、ビデオブースを活用した自然環境学習、館内展示を活用した自然体験学習 ・八ヶ岳の垂直分布展示 ・清里のカエデ図鑑展示 ・八ヶ岳自然クラブ写真展 他50件 ○主催事業(参加者数17,322人) 自然体験プログラム・イベント ・ガイドウォーク～森のお散歩～ ・森のクイズラリー ・森の塗り絵 他12件		
根拠法令等	山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター設置及び管理条例		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	28年度	29年度		30年度	31年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	①館内展示件数	46件	46件	53件	53件	53件	活動指標 ①前年度の実績を踏まえ、同等件数を設定 ②前年度の実績を踏まえ、同等レベルの参加者数を設定 データの出典等 事業報告書
	②イベントの参加者数	8,225人	8,500人	17,322人	17,500人	17,500人	
	活動指標達成率 (実績値/目標値)			%			
成果指標	①入館者数	106,492人	95,000人	96,836人	95,000人	95,000人	成果指標 ①基本協定を締結(平成23～25年度の3箇年の利用者数平均値の5%増) ②「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計100%を目指す データの出典等 事業報告書
	②利用者満足度	98.40%	100%	98.40%	100%	100%	
	成果指標達成率 (実績値/目標値)			%			
決算額又は予算額 (千円) うち一財額	38,532		38,110	38,529	38,988	38,988	成果指標によらない成果 「やまなし環境教育ミーティング」をはじめとした自然保護団体やNPO法人、地域住民等が参加するイベントなどが開催されており、地域の環境活動の拠点的施設としての役割を果たしている。
所要時間(直接分)	時間		時間	時間	時間	時間	
所要時間(間接分)	時間		時間	時間	時間	時間	
所要時間計	時間		時間	時間	時間	時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,145円×所要時間)							

III これまでの事業の見直し・改善状況

毎年度テーマを設け、展示内容やイベント内容を変えることで利用者の増加やリピーターの確保に努めており、平成27年度からは、入館者数が落ち込む冬期に集客力のあるイベントを実施することで、入館者の確保に努めている。また、利用者サービスの向上にも努めており、接遇等の職員研修の実施のほか、利用者アンケートによる業務改善も随時図っている。

IV 活動量と成果の判断(平成29年度の業績評価)

(1)事業は予定された活動量を上げているか(「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H29年度活動指標の達成率		①館内展示は、施設の設置目的に合致した展示を行っており、件数も予定どおりの活動量がある。 ②イベントの参加者数は、プログラム種数を増やしたことにより、前年度から2倍強と大幅に増加し、予定を超えた活動量がある。
	a	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2)事業は意図した成果を上げているか(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記載すること
H29年度成果指標の達成率		入館者数は、近年、10万人前後で推移しており、基本協定に定められた目標値も超え、意図した成果は上げている。また、満足度も「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計が98%を超え、非常に高く、意図した成果はほぼ上げている。
	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

V 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説明	IV以外の判断項目
有	事業は意図した成果を上げており、八ヶ岳南麓の自然に関する情報の提供や自然環境に関する知識のための体験学習の機会を提供する施設の役割を果たしてきた。毎年度、展示内容やイベント内容を変えることで利用者の増加やリピーターの確保に努めており、利用者満足度の向上に努めているが、今後も利用者の増加及び利用者満足度100%を達成するため、利用者サービスの向上に努める必要がある。 また、施設の利用者やイベント参加者に一層のアンケートへの協力を促すことで、回答数を増やし、より多くの利用者ニーズ等の把握に努める必要がある。	d, l

・「IV以外の判断項目」の欄

a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託
i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: プロセスの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	IV以外の判断項目
有	当センターの更なる利用促進を図るため、速やかに周辺施設との連携強化やPRの拡大、イベントの充実等の改善に取り組む。 具体的には、指定管理者のノウハウを生かしながら周辺施設との連携を強化し、センターの利用促進を図る。 また、案内チラシ等の配布対象を県内外の学校等に拡大し、センターの利用促進を図るとともに、学校等に対して、八ヶ岳南麓の『冬』の魅力を発信するなど、冬季の利用促進に取り組む。 更に、「八ヶ岳環境と文化のむら」の中核施設として、スポット地区との連携を強化することとし、新たなプログラムの実施を検討する。また、周辺の県立施設と連携したイベントの実施を検討するとともに、相互にパンフレットやチラシを設置するなど、利用促進に取り組む。 加えて、冬季ならではのイベント等を検討し、閑散期の利用者増を図るとともに、八ヶ岳南麓の『冬』の魅力を発信し、冬でも魅力のある施設であることのPRに取り組む。 そして、アンケート回収率の向上を図るため、利用者に対して積極的に記入の協力を呼びかけるとともに、回答者へのベルティの贈呈等を検討する。	d, j, l

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

VI 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等 ※「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
実施方法の変更等	当センターの更なる利用促進を図るため、速やかに周辺施設との連携強化やPRの拡大、イベントの充実等の改善に取り組む。 具体的には、指定管理者のノウハウを生かしながら周辺施設との連携を強化し、センターの利用促進を図る。 また、案内チラシ等の配布対象を県内外の学校等に拡大し、センターの利用促進を図るとともに、学校等に対して、八ヶ岳南麓の『冬』の魅力を発信するなど、冬季の利用促進に取り組む。 更に、「八ヶ岳環境と文化のむら」の中核施設として、スポット地区との連携を強化することとし、新たなプログラムの実施を検討する。また、周辺の県立施設と連携したイベントの実施を検討するとともに、相互にパンフレットやチラシを設置するなど、利用促進に取り組む。 加えて、冬季ならではのイベント等を検討し、閑散期の利用者増を図るとともに、八ヶ岳南麓の『冬』の魅力を発信し、冬でも魅力のある施設であることのPRに取り組む。 そして、アンケート回収率の向上を図るため、利用者に対して積極的に記入の協力を呼びかけるとともに、回答者へのベルティの贈呈等を検討する。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止(施設については「譲渡」)」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること

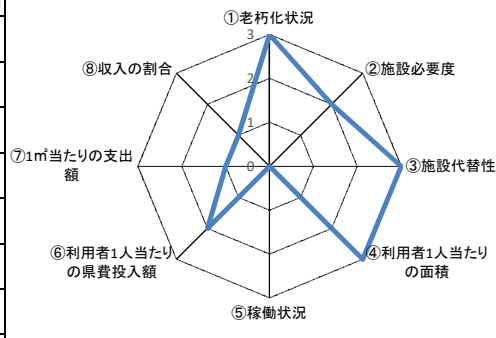
施設評価シート

基準日： H30.3.31

施設名	八ヶ岳自然ふれあいセンター			所管課室	みどり自然課		
大分類	I 県民利用施設	中分類	7その他県民利用施設	小分類	①その他県民利用施設	施設番号	195

<分析・評価>

指標	指標の解説	評価
①老朽化状況	経過年数÷目標使用年数(80年) ※複数棟は主建物で算定 1:62.5%以上 2:37.5%以上62.5%未満 3:37.5%未満	3
②施設必要度	評価検討シート・必要性該当項目 1:3項目以下 2:4~5項目 3:6項目以上又は設置義務	2
③施設代替性	代替性の有無(当該施設がないと事業が実施できないか) 1:有 3:無	3
④利用者1人当たりの面積	総延床面積÷利用者数 1:上位3割(高) 2:中位4割 3:下位3割(低)	3
⑤稼働状況	利用コマ数÷利用可能コマ数 1:40%未満 2:40%以上60%未満 3:60%以上	
⑥利用者1人当たりの県費投入額	収支差額÷年間利用人員 1:上位3割(高) 2:中位4割 3:下位3割(低)	2
⑦1㎡当たりの支出額	総支出÷総延床面積 1:上位3割(高) 2:中位4割 3:下位3割(低)	1
⑧収入の割合	総収入÷総支出 1:30%未満 2:30%以上100%未満 3:100%以上	1



項目 分析・評価 (施設所管課)

施設の安全性の評価	<p>・施設は平成6年11月設置のため、建築基準法上の耐震性は満たしている。 ・築22年を経過しているが、建物内部には目立った劣化・破損箇所はない。外部については一部破損箇所等があり、玄関タイルは、切れ目に水がしみこみ凍結してひび割れが出来るなど、冬季の寒さも施設劣化の要因の一つである。 ・施設管理については、利用者の安全性を重視し、点検・修繕等も適正に実施されている。</p> <p>○施設の安全性の評価としては、一部劣化・破損箇所等はあるものの、建築基準法上の耐震性は満たされており、建物自体には現状何ら問題が無いため、施設の長寿命化を図りながら継続して利用していくことが適切であると考える。</p>
施設の必要性、事業の必要性等の評価	<p>・地球温暖化や生物多様性の喪失など地球規模で環境問題が顕在化しており、県民一人一人が自然環境保護に対する意識を醸成することが必要である。 ・このため、八ヶ岳の自然環境を活かした環境教育の拠点として「恵み豊かな自然の中で、自然環境に関する情報と学習の機会を提供し、もって本県の良好な環境の保全と継承に資する」ことを目的に八ヶ岳自然ふれあいセンターが整備された。 ・当該施設は、ホールの展示で事前学習・情報収集を行うことで、隣接した森林内の歩道など野外フィールドで効果的な環境学習が行うことが可能な施設である。さらに、自然に関して映像で学ぶことができる視聴覚ホールや自然に関する豊富な蔵書を擁する図書コーナー等も整備されており、設置目的に即した効果的な施設である。</p> <p>○施設の必要性、事業の必要性の評価としては、環境教育や環境保全の重要性から自然環境に関する情報提供と学習の機会を提供し、県民の自然環境保護に対する意識を醸成することが必要であり、これら環境教育を効果的に進めるためには当該施設が不可欠である。</p>
施設の有効性の評価	<p>・施設規模については、これまでの利用者の傾向から判断すると適正な規模といえる。 ・施設の運営状況については、「八ヶ岳環境と文化のむら」の中心施設として、八ヶ岳南麓の自然に関する情報の発信や環境教育の拠点として適正に運営されている。 ・当該施設は標高1,400mに位置し、厳寒の冬季利用者は減少する傾向にある。このため、冬季利用者の増加を図るため、新規のイベント開催や各種メディアを利用した広報活動などの積極的な取り組みを行い、平成29年度は、平成28年度に比べて冬季利用者が13%増加するなどの成果も出ている。 ・利用状況については、利用者が5年前に比べ約5%増で、平成29年度は実績値96,836人と、近年では10万人前後で推移している。また、アンケートでは、「満足」「どちらかといえば満足」の合計が98パーセントを超え、満足度からみても事業の効果が出ていると判断できる。</p> <p>○施設の有効性の評価としては、施設利用時期や利用者の属性に変化はあるものの、利用者数は近年10万人前後で推移するなど施設利用の需用は高く、施設利用者アンケートにおいても高い評価を得ていることから、施設の有効性はあると評価できる。</p>
上記項目の分析・評価を踏まえた課題事項など特記事項	<p>課題 利用状況について、目標値を上回り高い水準での利用者数を維持できているが、当該施設がある清里は観光地であるため、閑散期である冬季利用者が減少しがちである。 このため、引き続き魅力あるプログラムの考案や各種メディアを用いての積極的な広報活動を行い、冬季利用者の増加に向けて取り組んでいく必要がある。</p>

<評価結果>

項目	評価																				
施設評価	<p><評価分類></p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>低</td> <td>中</td> <td>高</td> </tr> <tr> <td>必要性・利用状況(ソフ)</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>高</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>中</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>低</td> </tr> </table> <p>施設の性能(ハード)</p> <p>(注)分類は相対的なものであり、「低」であっても必ずしも施設が不要というわけではない。</p>		低	中	高	必要性・利用状況(ソフ)			●				高				中				低
		低	中	高																	
必要性・利用状況(ソフ)			●																		
			高																		
			中																		
			低																		
今後の方向性																					
所管部局等)	分析・評価結果を踏まえた総合的な評価、課題事項に対する対応策など																				
今後の施設方針																					
《庁内整理》	今後の施設方針																				

施設評価シート(検討シート)

基準日: H30.3.31

施設名	八ヶ岳自然ふれあいセンター			所管課	みどり自然課		
大分類	I 県民利用施設	中分類	7その他県民利用施設	小分類	①その他県民利用施設	施設番号	195

<評価項目関係指標>

築年数	築23年	次期更新予定年度	2074年	指定管理導入	○	指定管理料	37,542千円
延床面積	798.66㎡	うち執務室面積	89.10㎡	うち会議室面積	—	うち貸室面積	—
年間利用者数	96,836人	施設稼働率	—	類似施設の有無	○	近隣施設の有無	○
職員数	7人	うち指定管理職員数	7人	年間経費	38,110千円	年間収入	15千円
残使用年数	57年	更新費用概算	173百万円	更新までの保全費用	—	保全費用概算(50年間)	216百万円
利用者1人当たり県費	393円	1㎡当たり利用者数	121.2人	職員1人当たり執務室面積	12.7㎡	職員1人当たり会議室面積	—
未利用施設の有無	—	1㎡当たり支出額	47,717円	収入割合	0.0%		

<過去の検討状況等>

項目	内容
過去10年間における部局内でのあり方検討、行政評価アドバイザーによる外部評価の概要、また、文化財指定など特別な事情等の概要	
他都道府県における同種・類似施設の設置状況	群馬県:1施設(憩いの森 森林学習センター) 埼玉県:3施設(自然学習センター・北本自然観察公園、狭山丘陵いきものふれあいの里センター、さいたま緑の森博物館) 東京都:2施設(檜原都民の森、奥多摩都民の森) 神奈川県:1施設(自然環境保全センター) 長野県:4施設(志賀高原自然保護センター、美ヶ原自然保護センター、乗鞍自然保護センター、霧ヶ峰自然保護センター) 静岡県:6施設(昭和の森、天神山自然観察の森、県民の森、小笠山憩いの森、県立森林公園、天竜の森)

<評価検討項目>

※書ききれない場合は、行の高さを適宜調整すること(行の挿入はしない)

評価項目	該当の有無	評価内容
安全性	施設の老朽化度は問題ないレベルか(築年数及び施設の状態)	△ ・施設は築23年を経過しており、建物内部については目立った劣化・破損状況は無いが、外部については、デッキ手すりの腐朽や玄関タイルのひび割れなど、劣化・破損箇所がある。 ・自然観察路については、歩道の枕木(路面敷設チップ流出防止用)や小川に架かる橋(木製)の劣化が著しい。
	施設は耐震性を有しているか	○ ・平成6年11月設置のため、建築基準法上の耐震性は満たしている。
	施設の点検は適切に実施されているか	○ ・消火栓など法定点検については、指定管理者が専門業者に依頼して実施し、点検結果等の書類についてもセンター事務所内の施錠ができるロッカーで適正に管理を行っている。 ・日常の点検で確認した修繕が必要な箇所について台帳に記録するとともに、台風や積雪など荒天時の後は、重点的に点検を行って早期の修繕箇所の発見に努めている。
	施設の修繕・改修等は適切に実施されているか	○ ・上記点検結果等を踏まえ、修繕・改修を適切に実施している。 ・玄関・デッキ等は雨風にさらされているため、建物内部に比べて修繕等の頻度が高い。 ・特に、玄関タイルについては、切れ目に水がしみこみ凍結してひび割れが出来るなど、土地柄、冬季の寒さが施設劣化の要因の一つとなっている。 ・自然観察路については、急を要する修繕はないが、要修繕箇所が多いため、計画的な対応が必要。
	その他特記事項	—
必要性	法律上、設置義務がある施設か(根拠法令、内容)	×
	法律上、実施義務がある事業か(根拠法令、内容)	×
	設置目的に即した事業が実施されているか	○ ・当該施設は、平成6年、八ヶ岳南麓の特色ある自然環境や歴史文化などを有する11のスポット地区を活用しながら自然保護の意識を醸成する「八ヶ岳環境と文化のむら」事業の中心施設として位置付け整備。 ・自然環境に関する情報と学習の機会を提供し、本県の良好な環境の保全と継承に資することを目的に、自然観察や展示など様々な事業を実施。
	当該施設でなければならない事業か	○ ・当該施設は「八ヶ岳環境と文化のむら」事業推進の中心的な役割を担っており、八ヶ岳南麓地域の自然に関する情報の発信、環境教育の拠点として不可欠である。 ・館内ホールの展示で事前学習・情報収集などを行うことで、隣接した森林内の歩道など野外フィールドで効果的な環境学習が行うことが可能となる。 ・さらに、自然に関して映像で学ぶことができる視聴覚ホールや自然に関する豊富な蔵書を擁する図書コーナー等も整備されており、設置目的に即した効果的に事業の実施していくためには当該施設が不可欠。

施設評価シート(検討シート)

基準日: H30.3.31

施設名	八ヶ岳自然ふれあいセンター		所管課	みどり自然課	
大分類	I 県民利用施設	中分類	7その他県民利用施設	小分類	①その他県民利用施設
				施設番号	195

	県が関与しなければならない事業か	○	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化や生物多様性の喪失など地球規模で環境問題が顕在化しており、県民一人一人が自然環境保護に対する意識を醸成することが必要。 このため、県では「やまなし環境教育等推進行動計画」を策定し、県の役割として環境教育を通じて県民の環境保全意識の高揚を図っていくこととしている。 計画の中で、当該施設は環境教育の推進施設として位置付けており、施設運営は県が関与しなければならない。
	県内に同類の機能の施設がないか	×	富士山科学研究所、森林総合研究所
	設置目的は達成していないか	○	<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き、環境教育推進の拠点として、多くの県民に自然環境に関する情報と学習の機会を提供し、自然環境保護の意識を醸成していく必要がある。
	今後の人口動向、社会構造及び社会情勢の変化に伴う利用者需要に変化はないか	△	<ul style="list-style-type: none"> 当該施設は、小中学校の移動教室、シニア層や家族連れの旅での立ち寄り利用など、県内外から幅広い年齢層から利用されている。 また、学校、職場、さらに地域単位で、環境教育や環境保全活動に取り組む事例が増加しつつあり、特に、幼児期の自然体験を通じた環境教育に関心が高まっているため、今後、急激に利用者が減ることはないと思込まれる。
	新たなニーズが発生しているか(新たなニーズと対応状況) ※施設整備や大幅な組織改編を伴うものに限る	×	
	廃止・統合等の場合、補助金返還が発生するか	○	<ul style="list-style-type: none"> 自然公園等施設整備費国庫補助金「環境と文化のむら」事業 残存価格:約4,900万円(残存期間:14年) ※処分制限期間:金属造38年
	施設がない場合、どのような対応が可能か(どのように事業を実施するか)	—	<ul style="list-style-type: none"> <対応可>情報発信や自然体験などの学習事業 自然環境に関する情報発信 自然観察路等を利用した体験学習 <対応不可>荒天時や体の不自由な方など、自然体験が行えない場合の学習事業 展示物・図書等の活用 視聴覚ホールを利用した八ヶ岳南麓の自然や文化を紹介する映像等の上映
	その他特記事項	—	
有効性	施設の規模は適正か(過大または過小でないか)	○	<ul style="list-style-type: none"> 学校などの団体でも、1回の利用者数が最大180人前後で、ホールの利用可能数と同程度。 利用者数は季節や曜日による変動はあるものの、年間を通じて平均すると302人/日であり、主に利用される施設内展示には、38人/時間で適切な利用者数である。
	貸施設の稼働状況(稼働率60%以上:○、40%以上60%未満:△、40%未満:×)	○	
	利用が少ない施設・部室、時間帯、曜日、時期はないか	△	<ul style="list-style-type: none"> 当該施設は標高1,400mに位置し、厳寒の冬期利用者は減少する傾向にある。 このため、冬期利用者の増加を図るため、新規のイベント開催や各種メディアを利用した広報活動などの積極的に取り組み、平成29年度は、平成28年度に比べて利用者数が13%増加するなどの成果も出ている。
	事業効果の把握が適切に行われているか	○	<ul style="list-style-type: none"> 事業効果については、指定管理者が利用者アンケートを実施していて、月次・年次報告により利用者満足度を確認。 さらに、定期的に指定管理者とヒアリングを実施し、施設管理・利用状況等について聞き取りを行っている。
	事業の効果が出ているか	○	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数は、5年前に比べ約5%増。 年度により若干の増減はあるものの、H29年度の目標値95,000人に対し、実績値96,836人と目標値を上回り、近年では10万人前後で推移。 利用者アンケートでは、「満足」「どちらかといえば満足」の合計が98パーセントを超え、満足度からみても事業の効果が出ていると判断できる。
	特定の団体が占有していないか	○	

施設評価シート(検討シート)

基準日: H30.3.31

施設名	八ヶ岳自然ふれあいセンター			所管課	みどり自然課		
大分類	I 県民利用施設	中分類	7その他県民利用施設	小分類	①その他県民利用施設	施設番号	195

広く県民に利用されているか、利用者の属性	△	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度のイベント参加者アンケートでは、県内利用者の割合は44.6%であったが、県内に重点をおいて広報を行っている冬季講座やてくてく八ヶ岳やいきもの観察会など事業については、87.9%が県内の参加者となっている。 利用者全体の年齢構成別では、小学生以下が56.1%、中・高校生が12.2%、20～30代が11.3%、40～50代が13.9%、60～70代が6.1%、80代以上が0.4%であり、特に、学校の移動教室等で使われることが多いため、高校生以下の利用者が68.3%と高い。
未利用施設・部屋はないか	○	
他施設(機能)の統合(複合化・集約化)は困難か	○	<ul style="list-style-type: none"> 当該施設は、平成6年、八ヶ岳南麓の特色ある自然環境や歴史文化などを有する11のスポット地区を活用しながら自然保護の意識を醸成する「八ヶ岳環境と文化のむら」事業の中心施設として位置付け整備されたため、他の地域に移転することは困難である。
年間の運営コストは適正か(改善点はないか)	○	<ul style="list-style-type: none"> 年間経費の増減はあるものの、適正に行われている。(人件費62.8%、修繕費3.1%、管理費17.4%、事業費16.7%)
その他特記事項	—	<ul style="list-style-type: none"> 特別展示ホールにおいて、地域住民をはじめ県民の自然・文化の交流の場として、自然に関する写真展や自然を素材とした作品展などを開催している。

※該当の有無: 該当: ○、概ね該当: △、非該当: ×

施設カルテ

1 施設概要

基準日: H30.3.31

施設名	ハケ岳自然ふれあいセンター				所管課	みどり自然課	
大分類	I 県民利用施設	中分類	7その他県民利用施設	小分類	①その他県民利用施設	施設番号	195
設置年月日	平成6年11月28日	建築年月日	平成6年10月31日	(築23年)	改築年月日	—	
所在地	北杜市大泉町西井出石堂8240-1						
設置根拠法律	—			設置根拠条例等	山梨県立ハケ岳自然ふれあいセンター設置及び管理条例		
敷地面積	6,596.00㎡	借地面積	6,596.00㎡	借地元	恩賜県有財産	借地契約満了日	平成36年3月31日
財産区分	行政財産	施設形態	単独	耐用年数 (目標使用年数)	80年	次期更新予定年度	2074年
建物規模	鉄骨造、平屋建			駐車場台数	15台	建築面積	884.00㎡
延床面積	798.66㎡	うち執務室面積	89.10㎡	うち会議室面積	—	うち貸室面積	—
建設費	660百万円	地方債残高	—	償還(年/年)	—	改修・修繕履歴の有無	有
設置目的	恵み豊かな自然の中で、自然環境に関する情報と学習の機会を提供し、もって本県の良好な環境の保全と継承に資するため。						
主な施設内容 (定員、部屋数等)	<ul style="list-style-type: none"> ○建物面積 884㎡ ○建物の構造 鉄骨造(外周・下地木造)1階建 ○施設の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・展示ホール、交流コーナー 236.34㎡ ・視聴覚ホール 196.38㎡ ・特別展示ホール 116.64㎡ ・エントランス、事務室、機械室、倉庫等 249.3㎡ 						
主な業務内容・実施事業	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施設維持保全業務 <ul style="list-style-type: none"> ・施設及び設置器具の維持保全業務を行う。 2. 自然情報提供業務 <ul style="list-style-type: none"> ・ハケ岳南麓の自然に関する情報の提供業務を行う。 3. 学習体験機会提供業務 <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境に関する知識の習得のための体験学習の機会の提供業務を行う。 						
管理運営形態	指定管理	指定管理者	公益財団法人キープ協会		利用料金制の有無	無	
利用料金	—						
開館日数	321日	利用時間	9:00~17:00		休業日	毎週火曜 (大型連休、夏休、年末年始は無休)	
主な利用者	県内外から幅広い年齢層から利用されている。 ※個人旅行立ち寄り、旅行ツアー立ち寄り、林間学校等の学校行事での利用等様々な利用形態がある。						
年間利用者数	96,836人	施設稼働率	—	職員数	7人	うち指定管理職員数	7人
年間経費	38,110千円	うち指定管理料	37,542千円	年間収入	15千円	未利用施設の有無	無
残使用年数	57年	更新費用概算※	173百万円	更新までの保全費用※	—	保全費用概算(50年間)※	216百万円
目的外使用・貸付等	—						
類似施設	北杜市オオムラサキセンター、富士山科学研究所、森林総合研究所			近隣施設	まきば公園、ハケ岳牧場、ハケ岳少年自然の家		

※:BIMMSIによる概算

施設名		ハケ岳自然ふれあいセンター										
4 建物部位・設備情報(長寿命化対象建築物)												
建物名称	区分	種別	内容	有無	みどり自然課	未使用状況	点検実施の有無	修繕等履歴の有無	修繕等の内容	修繕等年度	予算額(千円)	
ハケ岳自然ふれあいセンター	建築	屋根	屋根防水+押さえコン	アスファルト防水	-	-						
			シート系防水		-	-						
			屋根長尺金属板	金属板葺き	-	-						
			その他	スレートかわら地	○	木毛セメント板、アスファルトルーフィング、酸化銅板葺き		○	-			
		外壁	壁-タイル									
			外壁仕上塗材	複層仕上塗材、塗装壁他	○	パーテクルボード(松板張り)、機水性防水剤塗布(木材用)		○	○	外壁塗装工事	18	5,731
			外部天井									
		建具	シーリング			○	-		○			
			外部建具	外部アルミニウム建具、外部鋼製建具	○	-						
			内部建具	内部鋼製建具、木製建具	○	-			○	ガラス修理	H23	52
	自動扉		木製自動開閉扉	○	甲信寺岡オートドア(株):基本木質材料で出来ており、表面に半分数板が貼り付けられている。		○	○	自動扉修繕	H17 H19 H21 H25 H26	50 41 81 302 294	
	内部	ステンレス製建具	ステンレス製建具、鋼製シャッター	-	-							
		内部仕上等	床仕上げ、壁仕上げ、天井仕上げ、内部雑物	○	-			○	館内フローリング修繕 床コンセント修理 コンセント取替	H23 H24 H27	80 10 8	
	電気設備	受変電	高圧	高圧受変電	-	(本施設:低圧)						
			非常用発電	自家発電装置、ディーゼル機関等	-							
			発電・静止系電源	交流無停電電源	無停電電源装置	-						
				太陽光発電		-						
		電力	電力	配管配線等	○	-		○				
			電線類	配線	○	-		○				
			制御盤、分電盤、OA盤		○	-		○				
蛍光灯他			FL電球、HF電球、LED	○	-		○					
			非常灯	○	-		○					
			誘導灯	○	-		○					
通信・情報		電話交換機	電話交換機	○	ターミナルボックス ナショナル、VJ-615		○					
		情報・出退表示装置		-	-							
		LAN、電話、表示、映像、防犯等	放送(アンプ)、視聴覚ホールハイビジョンシステム	○	60Wカセット付卓上アンプ ナショナル、WA-760 60W出力		○		ワイヤレスマイク設備修理 ビデオプロジェクタ、アンプ調整修理 バッテリーパック、DCコード AV機器調光照明修繕 DVDプレーヤー、プロジェクター等修理 AV機器修理調整 AV機器プロジェクタ、アンプ調整 AV機器制御用パソコン修理 AV機器プロジェクタ等設備修繕	H19 H19 H19 H19 H20 H21 H23 H24 H27	28 35 13 10 179 64 174 399 70	
			時計設備	-	-							
			配管配線等	○	-		○					
	通信・情報(防災)		自動火災報知	○	消火栓機工株式会社 6P-1569		○					
	機械設備	空調設備	温熱源	ボイラー	-							
冷熱源			吸収式冷温水機、冷凍機、冷却塔	-								
空調調和機			パッケージ型、ユニット型、FCU	○ (暖房のみ)	サンボット株式会社 FF-15G9 13,700kcal/h (平成5年) FF-10000T9 8550Kcal/h (平成5年) <灯油用>ノンフ(荏原株式会社 モーター 20GPA5.4 0.4kw)		○					
空調調和機(出力22kW以下)			ヒートポンプマルチパッケージ型空調機	-								
空調調和機(出力22kW超)			ヒートポンプマルチパッケージ型空調機 全室空調	-								
全熱交換器、空気清浄装置				-								
ポンプ、タンク、ダクト、配管				-								
換気設備		換気設備	送風機・ダクト	-	-							
自動制御設備		自動制御		-								
給排水設備		給排水	ポンプ、タンク、排水等	○	<浄化槽用>プロ7-用モーター(東浜工業株式会社 HC-301 0.75kw)、ポンプ用モーター(東浜工業株式会社 CYS40T 0.25kw)		○					
衛生設備		衛生器具他		○	東陶機器株式会社		○	男子トイレ修理 トイレ修理 女子トイレ個室扉修理、フロッシュバルブ修繕 トイレバルブ修理 男子トイレ電線弁修理 女子トイレ自動水栓修理 女子トイレ修理 男子トイレ修理 トイレ修理 男女トイレ洗面器配水管及びフロッシュ弁漏水修理	H16 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H26	15 33 17 182 5 58 48 7 93 35		
消火設備		消火設備一式	屋内消火栓、スプリンクラー 屋外消火栓等	○	<消火用>ノンフ(荏原株式会社 モーター40×32P SGFU52E 平成5年 2.2kw)		○					
昇降機その他	エレベーター		-									
その他	舞台装置	体育館	-									

施設名	ハヶ岳自然ふれあいセンター
-----	---------------

5 運営状況(施設利用者数)

区分	実績				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
入館者数	76,587	105,929	97,312	98,267	79,514
事業参加者数	10,643	7,011	10,685	8,225	17,322
合計	87,230	112,940	107,997	106,492	96,836
特記事項	(実績値に大幅な増減がある場合、または、補足説明が必要な場合は、その内容を記載)				

6 利用状況(施設稼働率)

施設稼働率	実績				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
全体					
特記事項	(実績値に大幅な増減がある場合、または、補足説明が必要な場合は、その内容を記載) 一般に貸し出している部屋はない。				

7 利用者満足度(施設全般の満足度)

利用者満足度	実績				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
「満足」「どちらかといえば満足」の割合	89.3%	96.8%	98.1%	98.4%	98.4%
特記事項	(実績値に大幅な増減がある場合、または、補足説明が必要な場合は、その内容を記載)				

8 収支状況(全体)

区分	実績				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収入の合計①	14,832	22,416	14,256	22,704	14,304
支出の合計②	37,606,440	38,522,346	39,340,564	38,531,746	38,109,678
収支差額(②-①)	37,591,608	38,499,930	39,326,308	38,509,042	38,095,374
年間利用人員③(人)	87,230	112,940	107,997	106,492	96,836
利用者一人当たりの県費投入額((②-①)÷③ ※2)	431	341	364	362	393
特記事項	(実績値に大幅な増減がある場合、または、補足説明が必要な場合は、その内容を記載)				

施設名	ハヶ岳自然ふれあいセンター
-----	---------------

9 収支状況(指定管理者)

区分		実績				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収入	施設利用料	0	0	0	0	0
	指定管理委託料	37,000,000	37,542,000	37,542,000	37,542,000	37,542,000
	その他	0	0	0	0	255,820
	収入合計(A)	37,000,000	37,542,000	37,542,000	37,542,000	37,797,820
支出	人件費	21,921,509	22,008,076	22,104,975	22,456,030	23,977,675
	県への納付金	0	0	0	0	0
	管理運営費	15,080,448	15,547,939	15,498,142	15,275,202	14,194,639
	うち外部委託費(B)	3,899,502	4,467,186	4,594,598	4,854,348	4,954,158
	支出合計(C)	37,001,957	37,556,015	37,603,117	37,731,232	38,172,314
収支差額(A-C)		△1,957	△14,015	△61,117	△189,232	△374,494
外部委託比率(B÷C)		10.5%	11.9%	12.2%	12.9%	13.0%
特記事項		(実績値に大幅な増減がある場合、または、補足説明が必要な場合は、その内容を記載)				

<關係資料>

1 管理運営経費

(1) 収入

項 目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
行政財産使用料	0	0	0	0	0
雑入	14,832	22,416	14,256	22,704	14,304
合計	14,832	22,416	14,256	22,704	14,304

(2) 支出

項 目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
報酬					
給料					
職員手当等					
共済費					
賃金					
報償費					
旅費					
需用費					
役務費		390,857		390,960	
委託料	37,000,000	37,542,000	37,542,000	37,542,000	37,542,000
使賃料	421,888	421,888	421,888	421,888	421,888
工事請負費			1,245,780		
備品購入費	184,552	167,601	130,896	176,898	145,790
補助金等					
扶助費					
公課費					
合計	37,606,440	38,522,346	39,340,564	38,531,746	38,109,678

2 利用状況

(1) 利用状況(施設稼働率)

算出方法	一般に貸し出している部屋なし					
部屋名称	平日	土日祝日	午前	午後	夜間	合計
-						
全体						

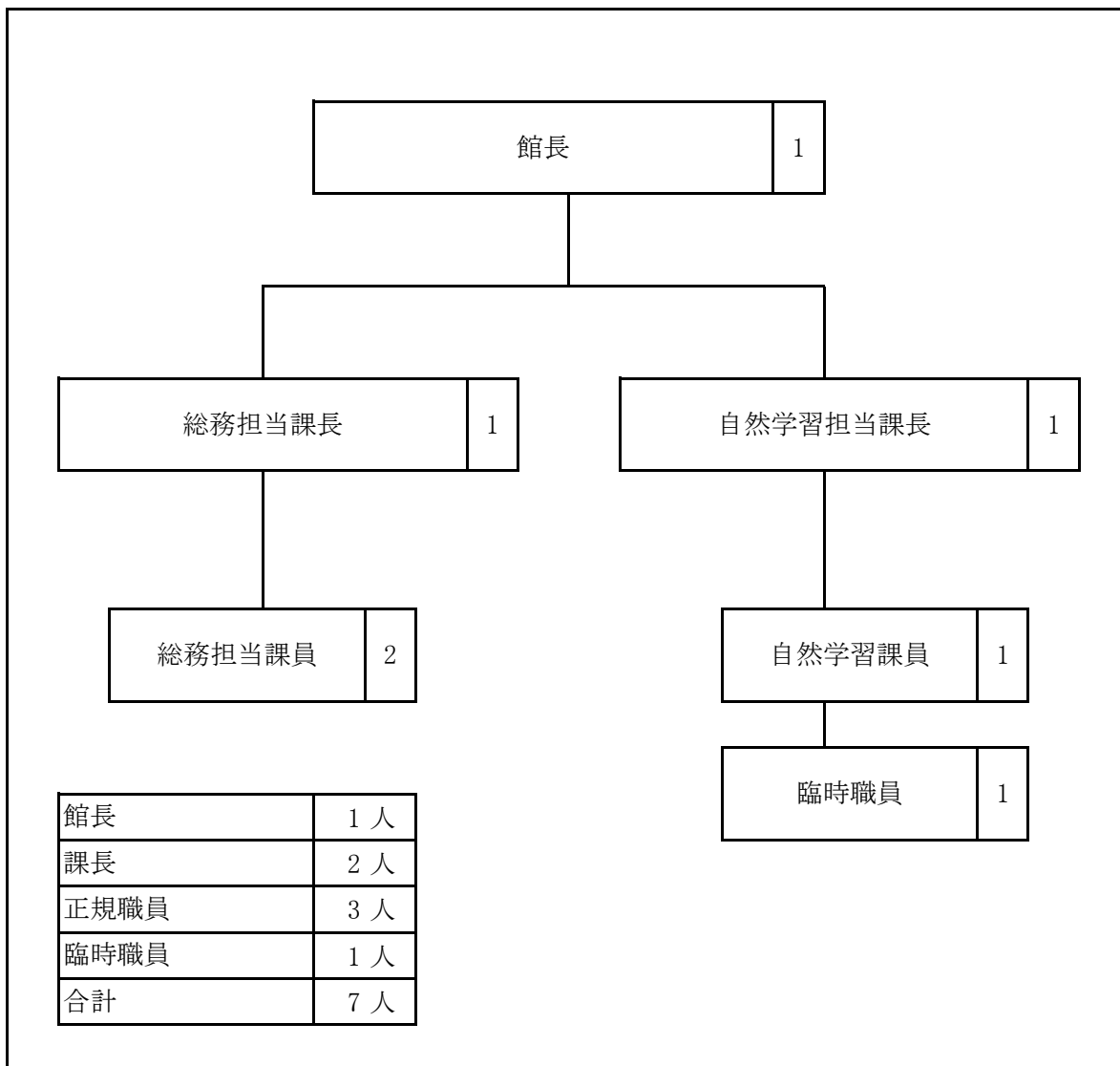
(2) 利用者満足度

実施時期・実施方法	実施時期:平成29年4月～30年3月 実施方法:事業参加者・貸館利用者へのアンケート ※アンケート回収数と有効回答数は各項目欄に記載のとおり (有効回答数/アンケート回収数)					
項目	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満		
①展示内容(200/222)	79.0%	19.0%	1.0%	1.0%		
②設備・備品の状況(203/222)	73.9%	24.6%	1.0%	0.5%		
③催物・事業内容(610/617)	86.1%	13.0%	0.8%	0.1%		
④職員の接客態度(196/222)	80.6%	17.4%	1.0%	0.1%		
⑤施設全般の満足度(198/222)	82.3%	16.2%	1.0%	0.5%		
⑥各項目の平均	80.4%	18.0%	1.0%	0.4%		
結果分析	<p>○利用者の主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急なお願いにもかかわらず丁寧な対応をしていただいた。 ・このようなガイドウォークに参加しなければ、いろいろな発見はできない。よかった。 ・とても楽しい展示で学べて、ずっと居たい。 ・ガイドウォークでは体験が多くてよかった。ツリフネソウは初めて知った。道中の細かい説明がよかった。 <p>○利用者の意見への対応</p> <p>展示物の中に動物の足跡スタンプがあり、それを使用した際に手が汚れることがあるため、お手拭きの設置要望があった。設置場所の確保やゴミ箱を新たに設置する必要性があったため、現状ではカウンターにお手拭きを用意し、必要な方に提供する方法をとっている。</p> <p>その他、セルフクラフト「紋きり」の折り紙においては、折り方の説明書が分かりにくいとの意見があったため、すぐに新たに分かりやすい説明書を用意した。</p>					

3 組織図等(指定管理者)

※組織図、職別、正規・非常勤別・合計人数が分かるように記載

平成29年4月1日現在



4 施設の利用状況

※利用人数のほか、施設の利用状況、活用状況等が分かる事項を記載

(1) 特別展示ホール展示事業実施状況

展示事業名	開始日	終了日
八ヶ岳ふくろう研究会写真展	5月10日	5月22日
八ヶ岳山人展	5月24日	5月29日
木彫り油彩画の二人展	5月31日	6月5日
林勝彦絵画展	6月7日	6月19日
全日写連北杜支部写真展	6月21日	7月3日
アートハウスエミュー	7月5日	7月17日
佐藤陽介写真展	9月2日	9月11日
峡北美術協会清里展	9月13日	9月18日
第7回写真展「八ヶ岳の四季」	9月20日	10月2日
八ヶ岳自然クラブ写真展	10月4日	10月16日
燦麓写心クラブ写真展	10月18日	10月30日
世界のこどもが大切にしたいものたち絵画展	12月23日	1月14日

(2) 自然体験プログラム実施状況

●予約制プログラム

プログラム名	時期	実施回数	参加人数
ガイドウォーク ～森のお散歩～	通年	130	1,376
特別ガイドウォーク	10月 年末年始	15	144
てくてく八ヶ岳 ～ スポット地区を巡るフットパス～	6月、7月、 9月、10月	3	59
八ヶ岳いきもの観察会	6月、8月、 11月、1月	5	80
八ヶ岳環境と文化を学ぶ講座	1月、2月、 3月	6	205
	計	159	1,864

●セルフガイド型プログラム

プログラム名	時期	実施回数	参加人数
森のクイズラリー	通年		4,278
森の紋切り	通年		3,175
森の塗り絵	通年		7,011
どんぐりペンダント	11月から 週末実施		639

八ヶ岳自然ふれあいセンター 設立の経緯と現状等について

○設立の経緯

- ・平成4年11月「自然環境保全活動拠点(環境と文化のむら)」として環境省(旧環境庁)から計画・承認される。
- ・平成6年11月 豊かな自然環境を保全するとともに、自然とのふれあいを通して地域の自然と人間との関係を見つめ直す「八ヶ岳環境と文化のむら」のセンター地区施設として山梨県が整備した。

総事業費：約660百万円(うち国補196百万円)、委託先：(財)キープ協会

<八ヶ岳環境と文化のむら>

八ヶ岳自然ふれあいセンターを中心とするセンター地区と八ヶ岳南麓の特色ある自然環境や歴史文化資産などを有する11のスポット地区で構成されている。

- ①水と風切りの里(高根) ②清流と飛瀑の里(高根) ③星空・青空集いの里(高根)
- ④体験農場と清流の里(大泉) ⑤泉ライン名水と野鳥の里(大泉・長坂)
- ⑥トチとミズラナと歴史の里(大泉) ⑦オオムラサキの里(長坂)
- ⑧ふるさと歴史公園(小淵沢) ⑨スズラン池と水辺の里(小淵沢)
- ⑩大滝名水と緑の里(小淵沢) ⑪馬場の里(小淵沢)

- ・平成18年度から指定管理者制度を導入した。

1期：H18/4～H21/3 3年 財団法人キープ協会

2期：H21/4～H26/3 5年 公益財団法人キープ協会(公益H24/4～)

3期：H26/4～H30/3 4年 公益財団法人キープ協会

○設置目的

- ・恵み豊かな自然の中で、自然環境に関する情報と学習の機会を提供し、もって本県の良好な環境の保全と継承に資するため。

○現状と課題

- ・平成28年度に利用者数が220万人を超え、年度単位では、3期目のH26年度以降10万人前後を推移している。
- ・設置目的に合致した展示やイベントが行われ、利用者の満足度も高い。
- ・厳寒の冬季は利用者が減る傾向があることから、平成27年度より新規イベントの開催等に取り組み、利用者の増加に努めている。
- ・築年数が20年を超え、施設の老朽化が進んでいる。

○将来的なビジョン

- ・利用者の満足度も高く、利用者の増加やリピーターの確保にも努めていることから、施設の設置目的に合った運営を継続していく。

主な事業の実施状況等(平成29年度)

(1)特別展示ホール展示事業実施状況

特別展示ホールにおいて、八ヶ岳南麓の自然や文化、地球環境などをテーマにした写真や絵画などを展示し、大型連休にはセンター主催の企画事業を行った。

展示事業名	概要	開始日	終了日
みんなの遊び場	自然の写真展 自然体験学習コーナー	4月1日	4月30日
みんなの遊び場～芽吹き編～	春の芽吹きの写真展 春を感じる体験学習コーナー 春を感じる休憩所	5月1日	5月7日
八ヶ岳ふくろう研究会写真展	写真展	5月10日	5月22日
八ヶ岳山人展	絵画、版画、陶器 展示	5月24日	5月29日
木彫り油彩画の二人展	絵画展	5月31日	6月5日
林勝彦絵画展	絵画展	6月7日	6月19日
全日写連北杜支部写真展	写真展	6月21日	7月3日
アートハウスエミュー絵画展	絵画展	7月5日	7月17日
みんなの遊び場～夏休み編～	涼を感じる写真展 夏の過ごし方の体験学習コーナー	7月19日	8月31日
佐藤陽介写真展	写真展	9月2日	9月11日
峡北美術協会清里展	絵画展	9月13日	9月18日
第7回 宮西憲司写真展 「八ヶ岳の四季」	写真展	9月20日	10月2日
八ヶ岳自然クラブ写真展	写真展	10月4日	10月16日
燦麓写心クラブ写真展	写真展	10月18日	10月30日
世界のこどもが大切にしたいものたち絵画展	絵画展	12月23日	1月14日
みんなの遊び場	自然のハート型を集めた展示 冬の遊具の展示	3月2日	3月21日
	自然の写真展 自然体験学習コーナー	3月29日	3月31日

(2) 自然体験プログラム・イベント実施状況

来館者が持っている「自然や環境に対する興味や関心」に応えることを目的とした自然体験プログラムを実施し、週末や大型連休、夏休み期間などに多様なプログラムやイベントを積極的に展開した。

●予約制プログラム

プログラム名	概要	時期	実施回数	参加人数
ガイドウォーク ～森のお散歩～	周辺の森などを、レンジャーの案内を受けながら散歩するツアー	通年	130	1,376
特別ガイドウォーク	上記ガイドウォークとは別内容の、季節に合わせたガイドウォーク	10月、年末年始	15	144
てくてく八ヶ岳 ～ スポット地区を巡るフットパス～	「環境と文化のむら」のスポット地区をレンジャーと共に巡るフィールドワーク	6月、7月、9月、10月	3	59
八ヶ岳いきもの観察会	八ヶ岳南麓に住む動植物の季節毎の観察会	6月、8月、11月、1月	5	80
八ヶ岳環境と文化を学ぶ講座	様々な地域の講師を招き、八ヶ岳の環境や文化を学ぶ講座の開講	1月～3月	6	205
計			159	1,864

●セルフガイド型プログラム

プログラム名	概要	時期	参加人数
森のクイズラリー	チェックポイントを巡り、クイズや課題に答えながら自然を楽しむフィールドワーク	通年	4,278
森の紋切り	折り紙を用いて、八ヶ岳に生きる動植物や虫、自然風景などの型に合わせた切り絵の作成	通年	3,175
森の塗り絵	八ヶ岳に生きる動植物や風景画の塗り絵の作成	通年	7,011
どんぐりペンダント	どんぐりを用いたペンダントの作成	11月から週末実施	639
計			15,103

●イベント

イベント名	概要	開催日	参加人数
八ヶ岳環境映像祭	雪深い村へ移住してきた人のドキュメンタリー映画の上映	9月23日	36
開館記念イベント	開館イベントで特設したスタンプラリー	11月3日	99
やまなし環境教育ミーティング	環境団体等の各主体によるパネルディスカッションや取り組みの紹介	3月1日	60
年度テーマ「暮らし方」に沿った講演会	北杜市在住の柳生博氏による八ヶ岳倶楽部の立ち上げや八ヶ岳の暮らしについての講演	3月21日	60
八ヶ岳自然クラブ講演会	「暮らし方」を題材に、地域の団体による自然と共に暮らすための工夫についての講演	10月6日	50
八ヶ岳の森シンポジウム	八ヶ岳周辺で活動する環境団体による活動内容の紹介や意見交換会	12月9日	50
計			355

上記の他、展示ホールに併設されている図書コーナーで自然環境や文化歴史を学ぶ機会の提供、視聴覚ホールにおいて、八ヶ岳南麓の自然や文化を紹介する映像の上映や団体向けに上映前に八ヶ岳南麓の自然や見どころを紹介する「レンジャートーク」を通年実施している。

また、イベント情報等については、ホームページの他、メールマガジンやSNS、新聞や県広報、チラシの配布等により、県民を中心に発信し、利用者確保に努めている。

隣県の類似施設の状況 ※データは平成29年度のもの

自治体	施設名	主な事業内容	運用体制	支出額	年間利用人数	配置人員	規模
群馬県	憩の森 森林学習センター	・展示 ・体験学習 ・森林観察会 ・自然講座	直営	70万円(人件費等除く) ※イベント・講座の開催経費	約12,000人	職員3人 臨時1人	建屋:1,534㎡ 全体:49.4ha
埼玉県	自然学習センター・北本自然観察公園	・展示 ・自然学習 ・体験学習 ・自然観察会	指定管理	64,864,000円	74,548人	14人	建屋:1,320.8㎡ 全体:27.1ha
	狭山丘陵いきものふれあいの里センター	・展示 ・里山体験講座 ・環境教育 ・自然観察会 ・ガイドウォーク	指定管理	15,121,000円	28,773人	職員3人 パート6人	建屋:452㎡ 全体:40.6ha
	さいたま緑の森博物館	・展示 ・自然観察会 ・ガイドウォーク ・里山体験教室	指定管理	23,358,000円	36,472人	職員2人 非常勤2人 パート1人	建屋:293.03㎡ 全体:85.5ha
東京都	奥多摩湖畔公園山のふるさと村	・展示 ・ガイドウォーク等自然体験プログラム ・キャンプ場サービス ・クラフト体験 ・レストラン ・自然散策路	指定管理	156,142,628円	63,707人	3人	建屋:クラフトセンター 617.25㎡ ケビン 881.1㎡ 全体:30.2ha
	奥多摩都民の森	・宿泊施設 ・森を感じる体験プログラム ・林業養成講座 ・登山イベント	指定管理	74,571,195円	5,472人	5人	建屋:556.61㎡ 全体:83ha
神奈川県	21世紀の森	・展示 ・木工教室 ・森林・林業学習 ・食堂・休憩スペース ・散策路	指定管理	28,075,679円 ※利用料収入+指定管理料が歳出合計と一致	39,872人	職員3人 臨時4人	建屋:森林館 499.9㎡ 木材工芸センター 231.76㎡ 森林ふれあいセンター 215.11㎡ 全体:107.3ha
長野県	戸隠森林植物園・八十二森のまなびや	・展示 ・森林体験体感ジオラマ ・自然観察情報サロン ・マルチビジョンシアター ・散策歩道	委託	7,790,416円	141,597名	3人	建屋:652㎡ 全体:71.34ha
静岡県	県民の森 ※4月中旬～8月末まで運営	・展示 ・木工芸 ・アスレチック ・ログハウス等宿泊施設	指定管理	32,879,147円	約11,000人	4人	建屋:ロッジ435㎡ 全体:283ha
山梨県	八ヶ岳自然ふれあいセンター	・展示 ・自然体験学習 ・自然観察会 ・ガイドウォーク	指定管理	38,172,314円	96,836人	職員6人 臨時1人	建屋:センター884㎡ 全体:0.66ha

外部委託費の内訳

(単位:円)

外部委託費 計		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		3,899,502	4,467,186	4,594,598	4,854,348	4,954,158
内 訳	清掃業務	2,341,766	2,674,356	2,719,008	2,709,008	2,719,008
	警備業務	268,800	272,160	272,160	272,160	272,160
	浄化槽業務	690,101	777,500	958,940	1,063,980	1,044,260
	消防設備	157,500	191,160	162,000	162,000	162,000
	駐車場警備	181,125	434,700	369,630	329,940	379,080
	その他(粗大ゴミ処理、薬品廃棄、園地草刈り等)	260,210	117,310	112,860	317,260	377,650

施設利用者等の内訳

1. 利用者数

(単位:人)

経年 (10年間)	年度	人数
	H20	99,191
	H21	95,039
	H22	102,638
	H23	92,699
	H24	92,433
	H25	87,230
	H26	111,611
	H27	107,917
	H28	106,546
	H29	96,836

(単位:人)

H29年度
月別利用者数

月	人数
4	4,136
5	11,719
6	9,371
7	12,846
8	21,887
9	9,687
10	7,880
11	6,429
12	2,403
1	2,854
2	3,158
3	4,466
合計	96,836

2. 利用者の属性(平成29年度)

(単位:人)

県内	31
県外	196
無回答	3
合計	230

※アンケート回答者のみ

(単位:人)

団体属性	県内	県外	無回答	小計
小学生以下	16	112	1	129
中学・高校生	6	22	0	28
20・30代	5	20	1	26
40・50代	2	30	0	32
60・70代	1	12	1	14
80代以上	1	0	0	1
合計	31	196	3	230

3. イベント参加者の属性(平成29年度)

(単位:人)

県内	253
県外	314
合計	567

※アンケート回答者のみ

4. 団体利用者の属性(平成29年度)

(1) 団体数における属性

(単位:団体)

県内	59
県外	163
合計	222

※利用申請から算出

(単位:団体)

団体属性	県内	県外	小計
幼稚園	12	8	20
小学校	20	85	105
中学校	4	19	23
高等学校	8	3	11
特別支援学校	0	11	11
大学校	1	3	4
一般	14	34	48
合計	59	163	222

(2) 団体利用者数における属性

(単位:人)

県内	2,506
県外	10,394
合計	12,900

(単位:人)

団体属性	県内	県外	小計
幼稚園	493	579	1,072
小学校	1,096	5,723	6,819
中学校	194	1,700	1,894
高等学校	230	250	480
特別支援学校	0	902	902
大学校	44	266	310
一般	449	974	1,423
合計	2,506	10,394	12,900

ハケ岳自然ふれあいセンター 平成29年度 利用団体一覧(県内)

	幼稚園	小学校	中学校	高校	特別支援	大学	一般		
1	みいづ保育園	35 上野原市立上野原小学校5年	126 富士川町増穂中学校	5 甲陵高校SSH	20		アポロ歯科衛生工専門学校	44 ハケ岳自然クラブ(総会)	40
2	あいおき保育園	25 石和南小学校5年	49 南アルプス市白根巨摩中学校	123 北社市立甲陵高校	20			ボランティア総会	17
3	峡南幼稚園	33 南アルプス市立白根飯野小学校	44 北社市立泉中学校1年生	39 北社市立甲陵高校	20			寿学級	13
4	市川幼稚園	21 南アルプス市立白根百田小学校	68 北社市立白州中学校	27 山梨県立中央高校	113			市川三郷町社会福祉協議会	25
5	聖徳幼稚園	55 甲斐市立竜王小学校	80 合 計	194 甲陵高校	10			竜王新町サンサロン	30
6	山梨英和学院認定こども園	20 山梨市立苗川小学校	108			山梨高校(定時制)	31	北社市立泉小学校10区育成会	60
7	ムラサキカトリック白百合幼稚園	88 南アルプス市白根東小学校	68			日本航空学園	11	山梨網膜色素変性症患者の会	25
8	大里保育園	66 笛吹市立春日居小学校	73			山梨県立中央高校	5	西地区教育委員会	30
9	森のようちえん芽	24 笛吹市立石和西小学校	49			合 計	230	ナガキ様	17
10	大里保育園	64 甲府市立相川小学校	15					損保ジャパン	7
11	竜王南荒川保育園	28 笛吹市立一宮西小学校	54					山梨県教育委員会	58
12	森のようちえん団体	34 北社市立清里小学校	17					清里ミーティングボランティア	17
13	合 計	493 POCOCOしがた	25					ハケ岳の森シンポジウム	50
14		POCCOLらね	19					やまなし環境教育ミーティング	60
15		高根清里小学校	6					合 計	449
16		上野原自然探検隊	21						
17		山梨大学附属小学校	94						
18		南アルプス市立ゆたか小学校	51						
19		山梨市立日下部小学校	77						
20		甲府市立舞鶴小学校	52						
		合 計	1,096						
学校数 (県内全体)	58園	177校	89校	40校	11校	11校	-		
児童・生徒数 (県内全体)	4,160人	41,598人	22,633人	24,447人	992人	-	-		

八ヶ岳自然ふれあいセンター 平成29年度 利用団体一覧(県外)

	幼稚園	小学校	中学校	高校	特別支援	大学	一般	
1	聖セシリア幼稚園	120 太陽自然学校	22 大田区立六郷中学校	135 YMCA	40 大宮特別支援学校	16 立教女学院	96 JTB	10
2	茂呂塾保育園	22 荒川区立第三峡田小学校	30 土岐市立肥田中学校	48 恵泉女学園	125 西東京市立柳沢緑学級	36 立教女学院	80 小平市小実地踏査	10
3	栄光乃園幼稚園	127 荒川区立日暮小学校5年生	63 大田区立御園中学校	38 恵泉女学園	85 大塚聖学校	66 立教女学院	90 府中市小学校合同実地踏査	30
4	太陽第2幼稚園	80 目黒区立宮前小学校5年	160 目黒第10中学校	100 合 計	250 東京都立文教官学校	26 合 計	266 ツアー団体	10
5	羽村たつの子保育園	40 青山学院初等科	10 不二聖心女子中学校	75		350 川崎市特別支援対象事業	台湾ツアー	33
6	ボーイスカウトビーバー	96 府中市立住吉小学校5年	127 香園女学院	40		46 都立調布特別支援学校	クラブツーリズム	30
7	子供の園	12 調布市立杉森小学校5年	106 藤沢市立高倉中	37		60 川崎市特別支援学級合同	台湾ツアー	20
8	栄光乃園幼稚園	82 青梅市立第二小学校5年	143 羽村第3中	18		80 練馬区立特別支援学級	荒川区教育委員会	28
9	合計	579 文教大附属小学校3.4年	115 青稜中学校2年生	69		27 神奈川県立えびな支援学校	目黒区教育委員会	27
10		立川市立幸小学校	80 八王子市立長房中5年	19		122 東京都立七生特別支援学校	町田市教育委員会	24
11		日野市立順徳小学校	136 八王子市立由木中学校	145		73 羽村特別支援学校	国立市教育委員会 全て実地踏査	12
12		横浜英和小学校	60 文京区立第十中学校	67		902 合 計	小金井市小中学校合同実踏	15
13		文京区立誠之小学校5年	128 八王子市立由木中学校	145			深谷ロータリークラブ	15
14		荒川区立第一日暮里小学校	37 大田区立出雲中学校	201			東京動物園友の会	40
15		荒川区立第三日暮里小学校5年	77 白百合学園	90			立川市教育委員会	31
16		昭島市立武蔵野小学校	2 板橋区立赤塚第二中	197			目黒区教育委員会(議員視察)	15
17		小平市立第六小学校	96 大田区立雲谷中学校	140			おかげさまのめぐみ舎	52
18		小平市立鈴木小学校	24 大田区立鎌田中学校	85			日野市中地区青少年育成会	50
19		日野市立滝合小学校	57 清瀬市立特別支援(中学生)	51			台湾ツアー	21
20		目黒区立緑ヶ丘小学校	41 合 計	1,700			荒川区青少年育成委員会	27
21		小平市立第7小学校	106				日本アセアンセンター観光部	20
22		目黒区立田道小学校	53				クラブツーリズム	13
23		目黒区立下目黒小学校	63				ツアー団体	80
24		川崎市立坂戸小学校	87				キャミリアスポーツクラブ	36
25		調布市立布田小学校	76				木造住宅フォーラム	25
26		文京区立鷹籠町小学校	41				クラブツーリズム	18
27		文京区立関口台町小学校	69				羽村自然休暇村(近隣ツアー)	16
28		昭島市立つつじヶ丘小学校	72				中国親子	20
29		文京区立汐見小学校	71				大きな木保育園(親子)	25
30		市川市立松中小学校	100				IPシンフォニー	16
31		調布市立深大寺小学校	103				鶴沼公民館	51
32		昭島市立成隣小学校	10				中国親子	23
33		町田市立南成瀬小学校	58				ユースミーティング	31
34		荒川区立峡田小学校	70				バスツアー	100
35		小平市立第4小学校	5				合 計	974
36		筑波大附属小学校	39					
37		井の頭小学校	40					
38		昭島市立武蔵野小学校	30					
39		目黒区立鷹番小学校	82					
40		府中市立南町小学校	120					
41		和光鶴川小学校	68					
42		神奈川学園精華小学校	85					
43		横浜国立横浜小学校	112					
44		所沢市立明峰小学校	103					
45		小金井市立前原小学校	88					
46		小金井市立小金井第2小学校	91					
47		狛江市立狛江第1小学校	104					
48		太陽自然学校	8					
49		ひかりスクール	19					
50		ボーイスカウト調布第2団	22					

	幼稚園	小学校	中学校	高校	特別支援	大学	一般
51		小金井市立小金井第3小	128				
52		小金井市立緑小	100				
53		ガールスカウト東京第32団	13				
54		小金井市立南小学校	97				
55		ボーイスカウト世田谷24団	8				
56		SCOA	20				
57		国立市立国立第6小	73				
58		国立市立国立第6小	73				
59		聖愛学童クラブ	27				
60		国立市立国立第1小	93				
61		目黒区立東山小学校	140				
62		目黒区立五本木小学校	76				
63		目黒区立不動小学校	76				
64		目黒区立油面小学校4年	68				
65		関東学院六浦小6年	57				
66		羽村市立羽村東小学校5年	56				
67		東京都大附属小学校	7				
68		横浜国立大附属小学校	12				
69		多摩市立東落合小	72				
70		平塚市立なでしこ小学校	14				
71		羽村市立富士見小学校5年	100				
72		調布市立椎野小学校5年	100				
73		目黒区立中根小学校	73				
74		荒川区立第三瑞光小学校	77				
75		青梅市立第五小学校	85				
76		府中市立新田小	55				
77		羽村市立羽村西小学校	77				
78		目黒区立駒場小学校	70				
79		筑波大附属小	46				
80		調布市立富士見台小	70				
81		筑波大学付属小学校	15				
82		川崎市立旭町小学校	20				
83		筑波大学付属小学校	9				
84		藤沢市立村岡小学校	190				
85		由比少年教室	17				
		合計	5,723				